

Title	早期 (幼児対象) 英語関連の書籍の内容についての調査結果報告
Sub Title	A survey of the contents of books for preschool children related to English
Author	長谷川, 淳一 (Hasegawa, Junichi)
Publisher	慶應義塾大学外国語教育研究センター
Publication year	2025
Jtitle	慶應義塾外国語教育研究 (Journal of foreign language education). Vol.21, (2024.) ,p.107- 118
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	研究ノート
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA12043414-20240000-0107

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

早期（幼児対象）英語関連の 書籍の内容についての調査結果報告

長谷川 淳 一

1. はじめに

2020年4月から小学校の中学年に外国語（英語）活動、高学年に外国語（英語）科が導入された。低学年においても、青田（2023）の全国調査結果（調査票の回収率は42%）では、年間授業時数は各自治体で異なっているものの、1年次では37.67%、2年次では37.81%の自治体で外国語（英語）活動が実施されていると報告している。¹⁾そこで、小学校入学前の幼稚園及び幼保連携型こども園における英語活動の取り組みの有無についての現状を把握するために、筆者は2022年度と2023年度に神奈川県相模原市及び川崎市の全幼稚園を対象にした英語活動に関する調査を実施し、その結果を考察するとともに、幼稚園における英語活動における異文化理解の視点からの提案をした。²⁾その調査結果から幼稚園における英語活動の実態を垣間見ることができたが、幼稚園で実際に行なわれている英語活動の内容把握には至っていなかった。そこで、主として幼稚園児の英語活動に携わった経験のある幼児英語教室関係者による早期（幼児対象）英語関連の書籍が多数出版されている現状に着目し、先行研究として幼児期の英語に関する書籍の内容分析を扱った論文を検索したが、見当たらなかった。そのため、今回は幼児英語関連の書籍の内容に焦点を置き、調査することにした。

2. 早期（幼児対象）英語関連の書籍に取り上げられたトピック

今回の調査では、基本的には幼児の保護者及び幼稚園教諭・保育園保育士・幼児英語教室関係者向けに書かれた早期（幼児対象）英語関連の書籍を対象としたため、幼児の言語習得に関する専門書の類いは除外した。また、早期英語関連の書籍でも、小学校の児童が主な対象で、幼児向けの内容が含まれていない場合には、対象から外した。その一方、タイトルに「英語」と表記されていない書籍でも、幼児向けの英語活動を内容として取り扱っている場合には、調査対象に含めた。さらに、幼児向けであっても、英語のスキル習得に特化した内容と判断したもの、例えばワークブック・ドリル・児童英検合格対策本などは、その対象から除外した。

表2は、調査対象にした早期（幼児対象）英語関連の書籍、計47冊をまとめたものである。それぞれ書籍名、著者名、出版社名、内容、特徴を記した。特徴は、文字通り、その書籍の特

筆すべき点を指摘した。

図1は、上記の47冊の早期（幼児対象）英語関連の書籍の中で取り上げられたトピックとそのトピックを取り上げた書籍数を示している。そのトピックを取り上げた書籍数に関しては、書籍の中で章立てとして扱われているトピックを対象にカウントしているため、触れられている程度のトピックは含めていない。また、基本的に、1つの書籍の中で著者は複数の異なったトピックを扱っているため、それぞれの異なったトピックごとにカウントした。反対に1つの書籍の中で同じトピックが複数回扱われている場合でも、1件として数えた。全体として、上位に取り上げられたトピック、例えば、「英語に興味を持たせる工夫」、「絵本の紹介（読み聞かせを含む）」「保護者が留意すべきポイント」などは一般的な内容であり、下位の「帰国子女」「オンライン教材」「プリスクール」「国際バカロレア」は、より特定化された・個別的な内容と言えよう。早期（幼児対象）英語関連の書籍の中で最も多く取り上げられたトピックは、「英語に興味を持たせる工夫」である。章立ての中では、例えば歌、ゲーム、玩具、幼児向け英語番組、英語イベントなど幼児に対して、英語に関心を持たせるアイディアが紹介されている。歌については、マザーグースなどのオーソドックスなものから動作で表現しながら歌うものまで、幅広く解説している。ゲームも同様に、カードゲームやジェスチャーゲーム、オンラインゲームなど広範囲に紹介している。玩具は、ボタンを押すと英語の音声になる遊具、塗り絵やデジタルおもちゃなど多彩に紹介している。幼児向け英語番組としては、「セサミストリート」や「テレタビーズ」が多く挙げられていた。英語イベントは、自治体や英語スクール主催の国際交流イベント、サマーキャンプなどが主なものであった。次に、「絵本の紹介（読み聞かせを含む）」をトピックとして24の書籍が取り上げ、「保護者が留意すべきポイント」「教材の種類と選び方」「英語環境づくり（事例紹介を含む）」といったトピックが22の書籍で、「英語教室（選び方を含む）」「聞く力をつける方法」といったトピックも20の書籍で取り上げられている。「絵本の紹介（読み聞かせを含む）」は、絵本の選び方や絵本の読み聞かせの方法など、絵本そのものを書籍の中心テーマにしているものも見受けられる。「保護者が留意すべきポイント」は、保護者が子どもと英語で触れ合う場合には、強制するのではなく、一緒に楽しみながら行なう、飽きさせない、英語嫌いにさせないための手立てなどが具体的に述べられている。「英語環境づくり」は、「聞く力をつける方法」と重複した内容も多かったが、特に、幼児に対して、保護者の英語での語りかけの重要性を指摘していた。「聞く力をつける方法」は、絵本の読み聞かせ、英語の歌のかけ流し、英会話のCDのかけ流し、英語での語りかけなど、幼児に英語の音声に慣れ親しませる等が例示されている。英語の歌のかけ流し、英会話のCDのかけ流しに関しては、否定的な意見を述べている書籍もあった。さらに、「母語（日本語）の発達が妨げられる不安」「英語嫌いにしないための工夫」のような幼児英語におけるマイナスの側面と考えられるトピックも、特に保護者視線を意識してのことか、それぞれ15と10の様に、

比較的多くの書籍で取り上げられている。「英語のモチベーションを高めるコツ」については、幼児が英語活動に意欲的に取り組んでいたが、途中で飽きてきた時の対処法を扱った内容であるため、「英語に興味を持たせる工夫」と区別した。「英語が苦手なお母さんに対するアドバイス」は、母親と一緒に英語で遊ぶことを念頭に、例えば発音などに自信がない場合の対処法が詳細に述べられている点が特色と言える。なお、「英語の歌」に関しては、10の書籍が取り上げていたが、章立てになっていないものも含めると、23の書籍が取り上げていたことになる。「サイレント・ピリオド（いつアウトプットするのか）」は、英語に接した結果、どのくらいの期間を得て発話するのか、発話する前の沈黙の期間についてのトピックである。「国際感覚の育成・異文化理解」については、コラムの中で英語圏の生活、習慣、行事に触れている「頭のいい子に育てる3歳までに絶対やるべき幼児教育」などの書籍も見られるが、章立てとして取扱っている書籍数は5と少ない。同様に、「オンライン教材」も取り上げた書籍数は4と少なく、積極活用派と消極派に大別していた。「その他」は、「思考力の育成」、「発信力の育成」、「アメリカ（カリフォルニア）の幼児教育」、「シンガポールの幼児教育」、「幼児語」、「サマーキャンプ」「英語育児あるある」、「公立小学校での英語活動・英語教育」、「幼児期の英語教育は身につかない」、「右脳の力を引き出す」などがトピックとして挙げられていた。因みに、図1の早期（幼児対象）英語関連の書籍の中で上位に取り上げられているトピックに関してだが、「英語に興味を持たせる工夫」「絵本の紹介（読み聞かせを含む）」「教材の種類と選び方」「英語環境づくり（事例紹介を含む）」などで扱われていた書籍の内容は、幼稚園の英語活動の現場でも役立つ有益な内容を多く含んでいた。表1は、相模原市内で英語活動を取り入れている22の幼稚園で活用されている教具の種別と川崎市内で英語活動を取り入れている20の幼稚園で活用されている教具の種別を示したものであるが、紙芝居を除いては、それらの項目は全て、トピックとして書籍の中で詳述されていることがわかった。その意味では、早期（幼児対象）英語関連の書籍の内容は、幼稚園での英語活動の内容を基本的に反映していると言えよう。

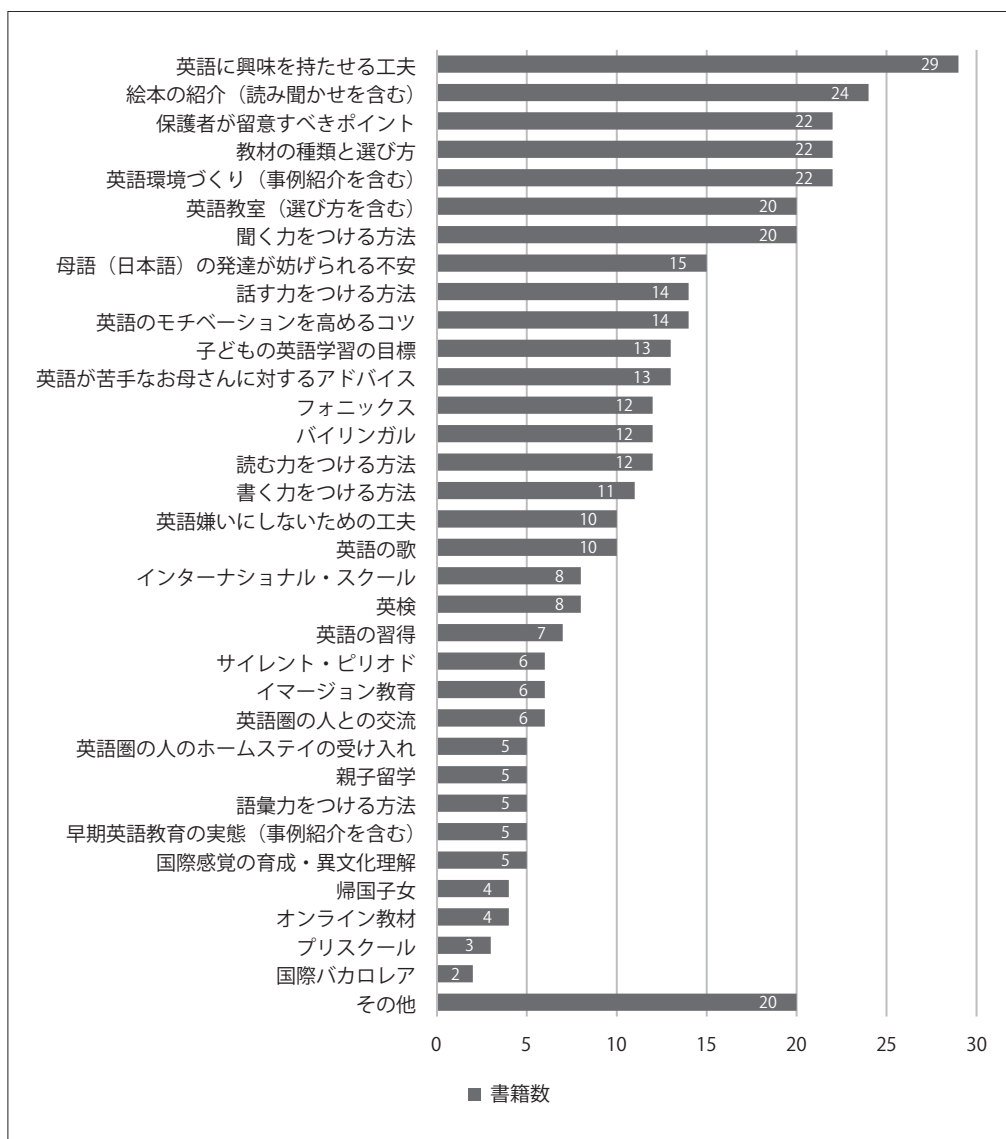


図1 早期（幼児対象）英語関連書籍に取り上げられているトピック

表1 活用されている教具の種別

相模原市内の幼稚園で英語活動を取り入れている 22園中 ³⁾		川崎市内の幼稚園で英語活動を取り入れている 20園中 ⁴⁾	
教 具	園 数	教 具	園 数
カード類	20	カード類	15
音声 CD	13	ゲーム・パズル	10
絵本	8	絵本	8
ゲーム・パズル	8	実物教具	6
ポスター・写真・イラスト	7	音声 CD	5
映像 DVD・ブルーレイディスク	3	ポスター・写真・イラスト	4
実物教具	3	映像 DVD・ブルーレイディスク	2
紙芝居	1	紙芝居	2

図2は、図1を基に、早期（幼児対象）英語関連の書籍の内容をカテゴリー別に分類したものである。英語学習、指導法、モチベーション、教材など「ことばの学習的内容」が全体の6割弱を占め、国際感覚の育成・異文化理解などの非認知能力の育成に関わる側面は、全体の2割にも満たない程度しか取り扱われていないことがわかる。冒頭で指摘したように、基本的には幼児の保護者及び幼稚園教諭・保育園保育士・幼児英語教室関係者向けに書かれた早期英語関連の書籍であるので、国際交流や国際理解の内容よりも「ことばの学習的内容」の方を重視した結果かもしれない。

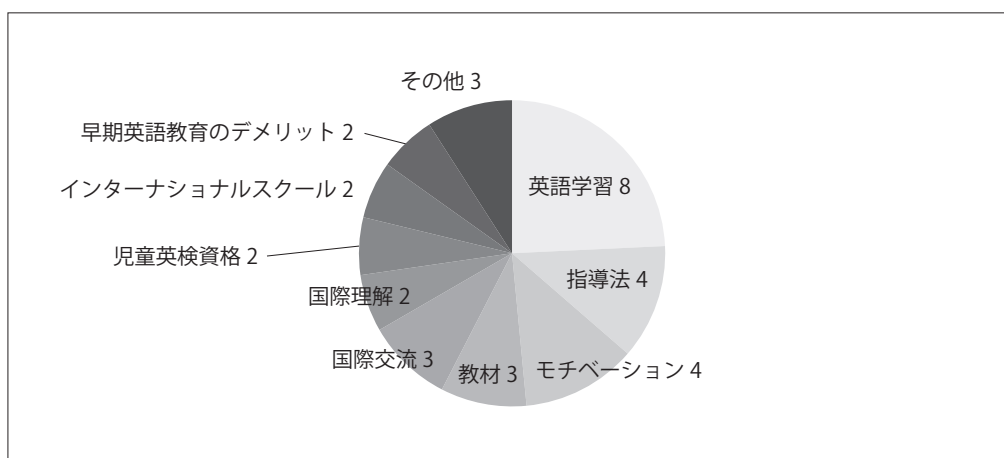


図2 早期（幼児対象）英語関連書籍の内容のカテゴリー別分類

表2は、調査対象にした早期（幼児対象）英語関連の書籍、計47冊をまとめたものである。それぞれ書籍名、著者名、出版社名、内容、特徴を記した。特徴は、文字通り、その書籍の特筆すべき点を指摘した。

表2 早期（幼児対象）英語関連書籍一覧（合計47冊）

書籍名	著者名	出版社名	内 容	特 徴
子供のための英語 ビギナーズガイド	清水 万里子	金星堂	英語子育ての具体的な 方法の紹介	コラム・子どものため の英語教材紹介
子どもの英語 いま、こんなふう	東後 勝明	BL 出版	早期英語教育を始める 前の心構え	みんなの英音法50・基 本英単語400
英語に強い子の育て 方	江藤 友佳	翔泳社	英語に強い子を育てる レールの敷き方紹介	英語環境づくり事例紹 介
英語を子どもに教え るな	市川 力	中央公論新社	「なぜ子どもに英語が 必要なのか？」を問う	ブックガイド
親子で楽しめる絵本 で英語をはじめる本	木村 千穂	ディスカバー	絵本で英語が好きな子 どもの育て方	おすすめ絵本50冊ブッ クガイド
子どもの英語「超効 率」勉強法	船津 洋	かんき出版	子ども英語の体系的な メソッドを伝授	参考文献リスト
娘に英語で話し続け たら、2歳で英語が ペラペラになった	沼畑 直樹	ワニブックス	子どもに3歳まで英語 を教えた記録	子どもに英語を教える 時の Q&A
語りかけの子育て 英語表現ベビートー ク	小島 加奈子 Robert J. trader	語研	生まれてから6歳にな る頃までの子どもたち にバイリンガル教育を する方法の紹介	育児用語リスト
子どもと一緒に英会 話	椎名 玲子	ベレ出版	ネイティブ・リズムで 英語育児を実践	コラム
5歳からでも間に合 うお金をかけずにわ が子をバイリンガル にする方法	平川 裕貴	彩図社	家庭でできる英語育児 入門書	本・教材・サイト・ YouTube 一覧
お母さんが教える 子供の英語	さゆり・ロバーツ トニー ロバーツ	はまの出版	毎日の語りかけ89表現 を紹介した児童英語学 習書	比較文化情報を本文中 で説明
子供を“バイリンガ ル”にしたければ、 こう育てなさい！	栄 陽子	扶桑社	子どもを「バイリンガ ル」に育てるためのメ ソッドを満載	日本で外国人と出会う 方法を紹介

書籍名	著者名	出版社名	内 容	特 徴
0～8歳までの子ども英語	平川 裕貴	彩図社	英語を好きにさせる方法を0～6歳まで年齢別に紹介	英語教育 Q&A
わが子を「英語のできる子」にする方法	清水 真弓	大和出版	英語子育ての方法論を分かりやすく解説	おすすめの本を本文中で随時紹介
子どもと英語	松香 洋子	mpi	真の国際人を育てるために必要なことを詳述	「子どもと英語」の12のポイント
拓土くん家の英語メソッド	拓土ママ	KADOKAWA	子どもに一生役立つ英語力を身につけさせる実践例を紹介	コラム
わが子を知的バイリンガルに育てる方法	柁木 史子	合同フォレスト	知的バイリンガル育成法を詳述	コラム
おうちではばバイリンガルの育て方	主婦の友社 育児書編集部	主婦の友社	4人の母親の英語子育て成功メソッドの紹介	バイリンガル子育て専門家アドバイス
はじめての親子英会話	清水 万里子	アスク出版	家庭でできる英語教育のアドバイスが豊富	コラム
はじめての親子英会話 あそび編	清水 万里子	アスク出版	親子で英語を楽しむ秘訣が満載	コラムがさらに充実
楽しい「子ども英語」はなぜ身に付かないの？	松井 義明	ポプラ社	幼児期の「聞く」英語から「読む」英語への橋渡しをアドバイス	おすすめ英語本ブックガイド
ママといっしょにリピート英語	戸張 郁子 ブラッド・ユアショット	ブックマン社	日常生活の18の場面での親子のリアルな英会話を掲載	巻末に復習表現集
子どもの英語教育はあせらなくて大丈夫！	ピーター・フランク	草思社	世界的な数学者の著者が子育てで本当に優先すべきことをアドバイス	章末に著者による「まとめ」を掲載
親子で楽しむ英語あそび	百瀬 淑子	ディスカバー	親子で楽しく英語でコミュニケーションできるアイデアを紹介	コラム おすすめ英語アプリ12選
英語が話せなくて将来就職できますか？	森田 麻美子	イカロス出版	子どものバイリンガル教育のためにセブに移住した体験記	コラム
バイリンガルは5歳までにつくられる	三幣 真理	幻冬社	早期児童英語教育の調査とバイリンガル子育て経験を解説	バイリンガルになれるおすすめコンテンツ
七田式・英語ができる子の育て方	七田 厚	PHP	右脳を活かす幼児英語教育を提唱	コラム

書籍名	著者名	出版社名	内 容	特 徴
こうして教える 子どもの英語 ―話 せる英語の指導―	仲田 利津子	アプリコット	子どもが楽しみながら 英語表現力を身につけ られる MAT 式指導法 を提唱	Q&A
ほんとうに頭がよく なる世界最高の子ど もの英語 子ども英語指導法	齋藤 淳	ダイヤモンド社	世界で通用する子育て の英語学習法と環境づ くりを提案	参考文献が充実
世界で活躍する子の 英語力の育て方	船津 徹	大和書房	20年先の社会を見越し た英語子育ての詳細を 解説	英語子育て Q&A
子どもの英語力を育 てたいお母さんのた めの本～楽しみなが ら自然に学べる正し い方法～	マズミ オーマンディ	アスペクト	子どもと楽しみながら、 自然に英語を学べる方 法を詳細に解説	お母さんのための Q&A
英語で一流を育てる	廣津留 真理	ダイヤモンド社	英語の 4 技能だけでなく、 国語力もアップする 子ども英語の新メ ソッドを提唱	子育て完全保存版マ ニュアル！ 11のルー ルを解説
3 ナイ主婦が息子を 小6 で英検 1 級に合 格させた話	タエ	朝日新聞出版	3 歳からできる英語 育児の体験記	英語育児に役立つフ レーズ&洋書&DVD
世界標準の英語の 学び方	白川 寧々 鈴木 款	学陽書房	各国の英語教育を踏ま え、科学的根拠に基づ き、楽しく親子で英語 を学ぶ方法を紹介	著者対談
0 歳から始める！英 語絵本音読メソッド	小林 妙子	三笠書房	年齢別（0 歳～9 歳） 英語絵本音読メソッド の紹介	わが子への英語での声 がけに毎日使えるフ レーズ集
「サマンサ式」9 歳ま でに育む「一流の英 語力」	サマンサ 英子	大和出版	アメリカのブラウン大 学で生まれた英語習得 法を家庭で実践でき るようにアレンジ	「キッズブラウン」と いう動画の一部を視聴
モンテッソーリ教育 ×おうち英語で世界 に羽ばたく子どもを 育てる	伊藤 美佳	DHC	モンテッソーリ教育で バイリンガルに育てる ためのノウハウが満載	日常シーンで使えるや さしい英語フレーズが 有益
アメリカの幼稚園で はこうやって英語を 教えている	リーパー・すみ子	径書房	「単語を音で教える」 アメリカの幼稚園教育 をわかりやすく解説	アメリカの幼稚園児の 言葉遊び、マザーグ ースのナンセンスライ ムを紹介

書籍名	著者名	出版社名	内 容	特 徴
超エリート英語教育	三井 博美	星雲社	英語の早期学習の必要性を多角的に解説	自宅での英語学習方法の具体例を提示
10歳からの英語 お母さんの出番です	川崎 美恵	さくら舎	早期英語教育に反対の立場からの提案	フォニックスの効果・導入法をわかりやすく解説
子どもを英語でほめて育てよう	カリン・シールズ 黒坂 真由子	日本実業出版社	英語のほめ言葉の場面と状況を分かりやすく説明	著者である日米の母親双方が、異文化理解の視点から、ことばの使い方を解説
これでいいの、早期英語教育？	早期英語教育研究会	三友社出版	保護者・教師の関心の高い早期英語教育に関する20のQ&A	最終章に、早期英語教育のあるべき姿を提言
おうち英語	小河 園子	Gakken	幼児から中学につながる「英語で学ぶ力」を育てる方法を伝授	子どもの発達段階に応じて英語を自然に身につけるため63の極意を披露
「おうち英語」まるわかりブック	どんぐりばあば	イカロス出版	子どもを英語嫌いにさせない上で大切な23の方法を解説	「子どもの英語」に役立つ本のリストが有益
頭のいい子に育てる3歳までに絶対やるべき幼児教育	佐藤 亮子	東洋経済新報社	「絵本」と「童謡」を活用して、幼児教育で実践したことを具体的に紹介	コラム及びオススメの絵本・本・図鑑200冊のリストが秀逸
8歳までの子どもの脳にやっていいこと悪いこと	成田 奈緒子	PHP 研究所	早期英語教育のマイナス面を小児科専門医の立場から解説	「子育てはまさに脳育て！」を標榜し、本文随所に持論を展開
小学校入学前にことばの力をつける魔法の本棚	中島 克治	小学館	「英語教育の前にやるべき大切なこと」を教師の視点で丁寧に説明	おすすめブックリストが秀逸

3. 調査結果のまとめ

以下に、47冊の早期（幼児対象）英語関連の書籍の内容について調査した結果をまとめる。

- ・「英語に興味を持たせる工夫」というトピックが、早期（幼児対象）英語関連の書籍の中で、29冊と最も多く取り上げられていた。具体的には、歌、ゲーム、玩具、幼児向け英語番組、英語イベントなど幼児に対して、英語に関心を持たせるアイディアが紹介されている。
- ・「絵本の紹介（読み聞かせを含む）」「保護者が留意すべきポイント」「教材の種類と選び方」「英語環境づくり（事例紹介を含む）」といったトピックが次に続き、「英語教室（選び方を

含む)」「聞く力をつける方法」といったトピックも20冊の書籍で扱われ、多く取り上げられていた。

- ・上位に取り上げられた「英語に興味を持たせる工夫」「絵本の紹介(読み聞かせを含む)」「教材の種類と選び方」「英語環境づくり(事例紹介を含む)」などで扱われていた書籍の内容は、幼稚園の英語活動の現場でも活用されており、役立つ有益な内容を多く含んでいる。
- ・「母語(日本語)の発達が妨げられる不安」「英語嫌いにしないための工夫」のような幼児英語におけるマイナスの側面と考えられるトピックも、それぞれ15冊と10冊の様に、比較的多くの書籍で取り上げられている。
- ・「英語が苦手なお母さんに対するアドバイス」は、特に母親と一緒に英語で遊ぶことを念頭においた内容であり、例えば発音に自信のない場合の対処法を説明するなど、早期(幼児対象)英語関連の書籍の内容ならではのものと言える。
- ・「国際感覚の育成・異文化理解」については、コラムの中で英語圏の生活、習慣、行事に触れている「頭のいい子に育てる3歳までに絶対やるべき幼児教育」などの書籍も見られるが、章立てとして取扱っている書籍数は5と少ない。
- ・「オンライン教材」も取り上げた書籍数は4と少なく、積極活用派と消極派に大別していた。
- ・「その他」は、「発信力の育成」、「アメリカ(カリフォルニア)の幼児教育」、「シンガポールの幼児教育」、「幼児語」、「サマーキャンプ」「英語育児あるある」、「公立小学校での英語活動・英語教育」、「幼児期の英語教育は身につかない」、「右脳の力を引き出す」など、多彩な内容である。
- ・早期(幼児対象)英語関連の書籍の内容をカテゴリー別に分類した結果からは、英語学習、指導法、モチベーション、教材など「ことばの学習的内容」がトピック全体の6割弱と主流を占め、国際感覚の育成・異文化理解などの非認知能力の育成に関わる側面は、全体の2割にも満たない程度しか取り扱われていない。

4. おわりに

以上、幼稚園の英語活動の実態把握を念頭に、主として幼稚園児の英語活動に携わっている幼児英語教室関係者による早期(幼児対象)英語関連の書籍の内容に焦点を置き調査したが、全ての早期(幼児対象)英語関連の書籍を調査対象とはしておらず、トピックの分類の仕方等も筆者の判断によるものであるため、結果は限定的である。今後は、さらに調査対象の早期(幼児対象)英語関連の書籍数を増やたり、協同研究の形を取るなど、様々な視点から調査研究を継続するつもりである。今回調査した早期(幼児対象)英語関連書籍の内容のカテゴリー別分類に関しては、「ことばの学習的内容」が中心で、国際感覚の育成・異文化理解などの非認知能力の育成に関わる側面は、全体の2割にも満たない程度しか取り扱われていないことがわ

かった。幼児期においては、英語ということばに慣れ親しむだけではなく、ことばの背景にある異文化に親しむことも同じように考慮する必要がある。²⁾ 異文化理解や国際理解の事例を紹介した内容を含む書籍数は前述通り、5と少数である。例えば「ことばの学習的内容」の中でも異文化対応能力の育成や国際理解の意識の芽生えへと繋がっていくことを意識した書籍としては、表2の「子どもを英語でほめて育てよう」、「お母さんが教える子供の英語」といった書籍が挙げられる。国際理解・異文化理解教育について、日本英語教育改善懇談会（現 日本外国語教育改善協議会）が1997年12月に開いた大会で、小学校における外国語（英語）教育について提案を行った。その概略について、早期英語教育研究会（1998）から以下に引用する。⁵⁾

（1） 小学校における「国際理解・異文化理解」教育について、次のことを配慮する必要がある。

- ア. 生活習慣や考え方の異なる人々と、積極的に触れ合い、理解する態度を育てることを目標とすること。
- イ. 様々な文化・言語に接する機会をつくること。
- ウ. 様々な人々と実際に触れ合う機会を持てるようにすること。
- エ. 様々な言語を使ってコミュニケーションを行なう喜びを実感できるようにすること。

（以下省略）

小学校の「国際理解・異文化理解」教育についてのアピールではあるが、幼児期の英語活動においても、そのような視点を忘れてはならないと、今回の早期（幼児対象）英語関連書籍の内容についての調査を通して、改めて認識した。

引用文献

- ¹⁾ 青田庄真（2023）「2023年度における市区町村の英語教育政策—小学校低学年における英語教育を含む独自政策に関する全国調査—」『茨城大学全学教職センター研究論集（2023）』、p.146-147.
- ²⁾ 長谷川淳一（2023）「幼稚園における英語活動の取り組みと異文化理解の視点からの提案」慶應義塾『外国語教育研究』第20号、p.77-90.
- ³⁾ _____（2022）「幼稚園における外国語（英語）活動の調査結果報告」桜美林大学研究紀要『総合人間科学研究』第2号、p.250.
- ⁴⁾ _____（2023）「幼児期の外国語（英語）活動—幼稚園の外国語（英語）活動の調査結果を踏まえて—」桜美林大学研究紀要『総合人間科学研究』第3号、p.285.
- ⁵⁾ 早期英語教育研究会（1998）『これでいいの、早期英語教育？父母・教師が知りたい20のQ&A』三友社出版、p.26.

参考文献

- 伊藤嘉一他（1997）「小学校英語教育のための教材分析（第1次研究報告書）1996年度文部省委託研究報告書 教育方法の改善に関する調査研究」『英語教材研究会』.
- _____（1998）「小学校英語教育のための教材活用 1997年度文部省委託研究報告書」第2次研究報告書『英語教材研究会』.
- _____（2002）「国際理解教育実践校での教材活用 2002年度文部省委託研究報告書」『英語教材研究会』.
- 久保田竜子（2018）『英語教育幻想』筑摩書房.
- 唐須教光（2002）『なぜ子どもに英語なのかーバイリンガルのすすめ』NHK出版.
- 鳥飼玖美子（2018）『子どもの英語にどう向き合うか』NHK出版.
- バトラー後藤裕子（2015）『英語学習は早いほど良いのか』岩波書店.